

学会だより

◇ 平成 18 年度日本農学賞受賞の決定

平成 18 年 1 月 24 日に開催された平成 18 年度日本農学会評議員会において、本学会が推薦した岩永勝氏（国際トウモロコシ・コムギ改良センター）の研究業績「植物遺伝資源の保全と利用のための遺伝育種研究と国際貢献」に対する、平成 18 年度日本農学賞の授与および読売農学賞への推薦が決定しました。なお、同賞の授与式を含む第 77 回日本農学大会は平成 18 年 4 月 5 日（水）に東京大学山上会館にて行われます。

談話会だより

◇ 四国育種談話会

四国育種談話会第 70 回講演会及び作物学会四国支部との合同シンポジウム

平成 17 年度公開シンポジウム テーマ「普及の現場から」：2005 年 11 月 24 日（木）14:10～17:00

講演会：2005 年 11 月 25 日（金）9:00～12:00

会場：近畿中国四国農業研究センター四国研究センター講堂

1. 「四国における大豆研究の現状と今後の展望」（日本作物学会四国支部会・日本育種学会四国談話会共催）シンポジウムのねらい

四国地域における大豆生産は、全国平均に比べて単収が低く、また検査等級格付けにおける上位等級比率が低いなど収量性、品質とも大きな課題を抱えている。当地域は中小規模圃場が多いため土地利用型作物の大豆栽培には困難が伴うが、このような条件を克服し、安定多収で高品質、さらに地域の特色ある大豆生産を目標として実施している研究開発の現状と今後の展望について話題提供してもらう。

- 1) 大豆 300A 研究の現状

近畿中国四国農業研究センター作物開発部 岡部昭典

- 2) 浅耕密播無中耕無培土栽培

愛媛県農業試験場栽培開発室 住吉俊治

- 3) 黒豆新品種育成について

香川県農業試験場作物担当 安田英樹

- 4) 大豆の機能性成分について

近畿中国四国農業研究センター特産作物部 関谷敬三

・座長：土屋健一（近畿中国四国農業研究センター）

菊池彰夫（近畿中国四国農業研究センター）

2. 「普及の現場から」（日本作物学会四国支部会主催）

テーマ：「香川県中讃地域の水田農業を巡る現状と課題」

香川県中讃農業改良普及センター 宮下武則

・座長：岡部昭典（近畿中国四国農業研究センター）

◇ 中部地区談話会

第 13 回講演会

日時：平成 17 年 12 月 3 日

会場：岐阜大学大学院連合農学研究科

話題提供

バラの育種の歴史と夢 福井博一（岐阜大学応用生物科学部）

一般講演

サツマイモ野生 2 倍体種における自家不和合性遺伝子座領域の塩基配列解析 久野壮志・内山美奈・Md. Habibur Rahman・諏訪部圭太・土屋亨・掛田克行・神山康夫（三重大生資）／サツマイモ野生種 2 倍体種における柱頭特異的発現遺伝子（*SE-1*）の RNAi 形質転換体の解析 小黒泰輔・伊地知豊美・柿本知香・神山康夫・掛田克行（三重大生資）／野生種における自家不和合性遺伝子の遺伝変異および、保有状況について 加藤朱理¹・向井讓²（1 岐阜大院・連農, 2 岐阜大・応用生物）／普通ソバ自家不和合性系統の特性評価 歌野弓・南峰夫・松島憲一・根本和洋（信州大院農）／隔離分布するブナ林における堅果生産に及ぼす交雑親間の距離と遺伝的近縁度の影響について 譲原淳吾¹・向井讓²（1 岐阜大院・連農, 2 岐阜大・応用生物）／Genetic diversity among Portuguese landraces of wheat and *Triticum petropavlovskiyi* Akondo A.S.M.Golam Masum¹ and Watanabe N.²（1 United Graduate School of Agr. Gifu Univ., 2 Appl. Bio. Sci., Gifu Univ.）／カンキツ多胚性遺伝子座のマッピング 中野道治^{1,2}・清水徳朗³・吉田俊雄³・大村三男²（1 岐阜大院・連農, 2 静岡大農, 3 農研機構果樹研）／トレンニア（*Torenia*）植物の系統解析 宮崎潔¹・桑山智恵子²・景山幸二³・松本省吾⁴・福井博一⁵（1 岐阜大院・連農, 2 岐阜大院・農, 3 岐阜大・流環研, 4 岐阜大・教育, 5 岐阜大・応用生物）／普通ソバ（*Fagopyrum esculentum*）高ルチン系統の特性 浜保理恵子・南峰夫・松島憲一・根本和洋（信州大院農）／普通ソバ（*Fagopyrum esculentum*）の胚珠培養に及ぼす植物ホルモンの影響 森田善博・南峰夫・松島憲一・根本和洋（信州大院農）／日本各地のスギ 285 系統における花粉粘性とアレルゲン, Cry j 1 量 浅野淳¹・斉藤真己²・古田喜彦³（1 岐阜大院・農, 2 富山県林業技術セ・3 岐阜大・応用生物）／花粉を制限した人工交配によるコナラの堅果生産について 鶴田燃海¹・向井讓²（1 岐阜大

院・連農, 2 岐阜大・応用生物) / 階層解析を用いたシロイヌナズナ根の Al 及び pH 耐性機構に関する解析 一家 崇志¹・小林佑理子¹・澤木宣忠¹・池田真琴²・小山博之³ (1 岐阜大院・連農, 2 岐阜大院・農, 3 岐阜大・応用生物) / 機械的ストレス下での根の細胞増殖過程を制御するイネ *RRL3* 遺伝子のマッピング 渡辺紗哉華¹・北野英己²・犬飼義明¹ (1 名古屋大・院生命農学, 2 名古屋大・生物機能開発センター) / スパティフィラム (*Spathiphyllum*) のコルヒチン処理による倍数化 住吉稔¹・福井博一² (1 岐阜大院・農, 2 岐阜大・応用生物) / イネの根の突然変異体を用いた地上部-地下部成長関係の解析 尾崎祐朗¹・西川浩人¹・北野英己²・犬飼義明¹ (1 名古屋大・院生命農学, 2 名古屋大・生物機能開発センター)

閉会あいさつ 古田喜彦 (岐阜大学応用生物科学部)

◇ 北海道談話会

(日本作物学会北海道談話会との共催)

例会

第 237 回

日時: 平成 17 年 2 月 14 日

会場: 北海道大学農学部

演題: 「ゲノムの海を漂うトランスポゾン」

演者: 谷坂隆俊 (京都大学大学院農学研究科)

第 238 回 (穂発芽研究会との共催)

日時: 平成 17 年 6 月 29 日

会場: 北海道大学農学部

演題・演者:

1. 「Breeding wheat for today and the future」Dr. Gavin Humphreys (Scientist at Agriculture and Agri-Food Canada, Cereal Research Centre winnipeg, Wheat breeding and genetics)
2. 「Assembling complex genotypes in wheat with microsatellite markers」Dr. Daryl Somers (Scientist at Agriculture and Agri-Food Canada, Cereal Research Centre winnipeg, Cereal molecular mapping and marker technology)

第 239 回

日時: 平成 17 年 9 月 30 日

会場: 北海道大学農学部

演題: 「ミトコンドリア基盤情報を利用した応用研究」

演者: 門脇光一 (農業生物資源研究所)

第 240 回

日時: 平成 17 年 11 月 28 日

会場: 北海道農業研究センター

演題: 「Forage Grass Breeding at the Dairy Forage Research Center, USA」

演者: Dr. Michael Darwin Casler (Research Geneticist, U.S. Dairy Forage Research Center USDA-ARS)

第 241 回

日時: 平成 17 年 11 月 14 日

会場: 北海道大学農学部

演題: 「Post-transcriptional control of gene expression in plants and its application to Molecular Breeding」

演者: Dr. Roger P. Hellens (Group Leader, Gene Discovery and Functions Department, Hort Research, New Zealand)

年次講演会 (札幌農林学会) (46 課題)

日時: 平成 17 年 12 月 3 日

会場: 北海道大学術交流会館 (本年度から講演発表には、液晶プロジェクターを使用)

北海道におけるヒヨコマメの収量と根系分布の品種間差異: 平岡雄飛・寺内方克・岩間和人・実山豊・柏木純一 / 道央地帯における秋播性ライコムギ・ライムギの初冬期播種栽培の可能性: 義平大樹・唐澤敏彦 / 二酸化炭素濃度および気温の上昇が春播コムギの生育に及ぼす影響 - 人工気象室による評価 - : 藤村恵人・岩間和人・寺内方克・実山豊 / 春まき小麦「春よ恋」における出穂期後の窒素追肥が子実中のタンパク質含有率に及ぼす影響: 佐藤三佳子・櫻井道彦・五十嵐俊成・鈴木和織 / コムギの座死を引き起こす内生因子: 伴戸香月・高田晃・幸田泰則 / コムギ準同質遺伝子系統による中華麴物性とテクスチャーに対する高分子グルテニンサブユニットの影響の検討: 太田圭子・三浦秀穂・大内幸太・橋本直人・伊藤美環子・西尾善太・山内宏昭 / 白粒コムギ組換え自殖系統における種子休眠性の変異: 三浦秀穂・Nisha S. Kottarachchi・内野紀彦・加藤清明 / 白粒コムギ戻し交雑集団における種子休眠性の向上: 高尾慎一・加藤清明・三浦秀穂 / 低温応答性コムギガラクトノール合成酵素遺伝子の単離と解析: 下坂悦生・小沢憲二郎 / DNA 多型による北海道産タマネギの品種識別: 紙谷元一・臼井裕一・足立静香・西田忠志・柳田大介 / 難脱粒性ソバ「グリーンフラワー」の遺伝様式: 六笠裕治・鈴木達郎・本田裕 / ソバ在来種への追肥効果: 本田裕・六笠裕治・鈴木達郎 / 北海道のトウモロコシ新旧品種における密植・狭畦栽培の増収効果: 深山徹・岩永健吾・岩間和人・寺内方克・実山豊 / トウモロコシ新旧品種の根系と耐倒伏性に及ぼす栽植様式の影響: 岩永健吾・深山徹・岩間和人・寺内方克・実山豊 / カバークロップの播種密度の違いが雑草抑制におよぼす影響: 杉浦恵理・内野宙・岩間和人・寺内方克・実山豊 / 有機栽培においてカバークロップが雑草抑制および土壌微生物活性におよぼす影響: 内野宙・杉浦恵理・岩間和人・寺内方克・実山豊 / 十勝地方のダイズ畑における除草剤と栽植密度による除草効果: 石川枝津子・中野寛・竹中重仁 / 播種時の殺虫剤処理が茎葉処理除草剤ベンタゾンによる大豆の葉害に及ぼす影響: 中野寛 / 茎葉処理除草剤ベンタゾン感受性のダ

イズ品種間差異：田中義則・吉良賢二／大豆の裂皮性の品種間差異とその簡易評価法：鴻坂扶美子・田中義則／ペーパーポット移植が極大粒大豆の生育および枝豆収量に及ぼす影響：中橋伸郎・鴻坂扶美子・寺沢秀和・田中義則／ダイズ品種「ハヤヒカリ」の耐裂莢性遺伝子のゲノム上の座乗位置：船附秀行・石本政男・辻博之・川口健太郎・羽鹿牧太・藤野介延／ダイズβ-コングリシニンαサブユニット遺伝子の種子特異的転写制御機構の解析：永松敦・吉野道子・堤賢一・金澤章／栽培および野生イネにおける肥料反応性の QTL 解析：丸岡正道・市川直史・大西一光・佐野芳雄／稲作の北限地域、北海道における野生イネの育種素材としての可能性：伊藤勇樹・大西一光・市川直史・丸岡正道・佐野芳雄・清水博之／イネ極早生性に関する遺伝子のマッピング：藤野賢治・関口博史／イネ小穂の形態的突然変異体の遺伝解析—3種の1小穂2小花型変異体と内穎発育不全変異体—：杉田麻衣子・佐野芳雄・高牟禮逸朗／イネの温度感受性少分げつ変異遺伝子 *ren4* のマッピング：モジッタアリヤラ・高牟禮逸朗・加藤清明／刈取りを受けたイネが再生生長において示す資源配分様式：田村佳浩・本江昭夫・秋本正博／出穂期、成熟期の葉色から見た低蛋白系統選抜の可能性：尾崎洋人・平山裕治・八木哲生・荒木和哉／府県水稲糯品種並に高い餅硬化性を持つ育成系統の解析：木下雅文・沼尾吉則・尾崎洋人・荒木和哉・佐藤毅／Control of rice tungro virus disease in Indonesia : Muhammad Muhsin／RNA-directed DNA methylation による外来遺伝子の転写不活性化の誘導および維持には標的となるプロモーターの部位が重要である：太田垣駿吾・洪鎮成・後藤一法・増田税・金澤章／イネ及び近縁種における転移因子間のメチル化頻度の比較：清原彰浩・高田美和子・佐野芳雄・貴島祐治／野生および栽培イネにおける *ms-bo* 細胞質と稔性回復遺伝子 (*Rf-1*) の分布様式：太田宇香・長野宏則・佐野芳雄／北海道水稲主要栽培品種・育成系統における 2005 年度の多収要因—乾物生産と収量構成要素—：梶原靖久・平山裕治・田中一生・田中英彦・清水博之・岩間和人／北海道の湛水直播水稲における分けつ特性の品種間差異が収量に及ぼす影響：Kossonou A. G.・岩間和人・実山豊・寺内方克・新発田修治／根量の異なるバレイショ 2 品種における土壤吸水量の推移：堀切学・岩間和人・鄭慮・水上千春・寺内方克・実山豊／バレイショ 早期培土栽培における栽植密度反応：大波正寿・鈴木剛・稲野一郎・前野真司／深植え栽培におけるジャガイモの生育特性の解析：岡田昌宏・三浦秀穂・津田昌吾・森元幸／ばれいしょマイクロチューバー栽培において熟期別に見た収量へ影響を及ぼす生育特性：津田昌吾・森元幸・小林晃・高田明子／塊茎形成時におけるジベレリン関連遺伝子の発現解析：中市後祐司・幸田泰則・藤野介延／テンサイ稔性回復遺伝子 *Rf1* の進化について：濱口祐子・松平洋明・久保友彦・三上哲夫／CAPS マーカーによるテンサイ連鎖群の同定：田口

和憲・松平洋明・岡崎和之・高橋宙之・中司啓二・久保友彦・三上哲夫／人工接種によるテンサイ黒根病抵抗性の個体選抜：岡崎和之・田口和憲・高橋宙之・中司啓二／採種テンサイの個体内における各分枝の種子特性：高橋宙之・岡崎和之・大瀧直樹・中司啓二

◇ 近畿地区談話会

近畿作物・育種研究会 公開シンポジウム (第 160 回例会) 「分子生物学が拓く未来の農業」

日時：2005 年 12 月 3 日 (土)

会場：近畿大学生物理工学部

講演

1) 品種改良とバイオサイエンス

谷坂隆俊 (京都大学大学院農学研究科)

2) 土壤細菌 *Bacillus thuringiensis* が産生する昆虫目特異的殺虫タンパク質 (Cry) の作用機序

武部聡 (近畿大学生物理工学部)

3) 植物バイオによる新しい園芸品種の開発～青いバラを中心に

田中良和 (株)サントリー先進技術応用研究所)

総合討論

・座長：加藤恒雄 (近畿大学生物理工学部)

分子生物学と農業の関わりから、分子生物学がどのように農業に貢献すべきかといった点や GMO の安全性といった点にまで話題が及び、学生諸君や若手研究者らを中心として、大いに活発な討論が展開された。今回のシンポジウムにおいて、GMO に関する質疑が多く出されたことで、改めて GMO への関心の高さを伺わせた。なお、本シンポジウムを開催するにあたっては、(財)わかやま産業振興財団のご後援をいただいた。ここに記して感謝の意を表する。

日本育種学会会員異動 (2005.10.21 ~ 2006.1.20)

◇ 普通会員入会：北野のぞみ (青森)、赤坂舞子、呉世寛、加屋隆士、津田麻衣、堀口昌宏、馬替由美 (茨城)、桑川晃伸 (栃木)、池田洋 (群馬)、小山麻希 (千葉)、今村順、大杉立、大坪久子 (東京)、船生岳人 (愛知)、一色正之 (奈良)、宇都木繁子、西村秀希 (岡山)、高橋飛鳥 (香川)、塚脇博夫 (福岡)

◇ 学生会員入会：吉田智美 (北海道)、福島有紀恵 (千葉)、鳥羽太陽 (東京)、井上祐一 (神奈川)、金子博 (熊本)、井手一夫 (宮崎)

◇ 外国会員入会：Diego RUBIALES (スペイン) 施芳 (中華人民共和国)

住所変更等

◇ 普通会员：木内均，神野裕信（北海道），庭田英子（青森），小田中浩哉（岩手），上林美保子（山形），柴智徳，新田みゆき，別府まゆみ，渡邊純子，渡部信義（茨城），山本敏央，渡辺啓史（千葉），橋田慎之介，南晴文

（東京），馬上武彦，持田恵一，八木忠之，山田良雄（神奈川），山口琢也（富山），今山輝之（静岡），山根京子（滋賀），柿窪善浩（香川），轟篤，山川理（宮崎），住秀和（沖縄）

◇ 外国会員：Xueqin He（中華人民共和国）